



あいだ さえ
会田 紗瑛 さん

●常盤中3年
**本の楽しさを伝え
られる司書に**

私の夢は図書館司書になることです。

私は本を読むことが好きで、図書館や書店に行くだけでわくわくします。しかし友人には、本を読むことを、苦手とか、つまらないと感じている人がいます。私は、そんな人にこそ、本を読む楽しさを感じてほしいと考えています。

本は、買うと最低でも数百円はします。しかし図書館なら何冊借りても無料です。私は、そんな図書館こそが、私たちに新たな楽しみを作ってくれる場所だと思います。だから私は、将来図書館で働くことができるように、今できることを精一杯頑張りたいです。

**みんなの広場に
出てみませんか？**

「すてきな仲間たち」「めもと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。

※「すてきな仲間たち」「めもと人生」は隔月で掲載します

■問合せ 政策調整課広報広聴係
☎(20)3037

めもと人生
meoto life

くらもと かずお
倉本 和夫さん (81歳)
タカさん (77歳) 並木町



Q ご結婚何年目ですか
○昭和34年に結婚し、今年で53年目になります。
Q これまでで印象に残っている出来事は
○和 毎日の生活を夢中で過ごしてきた中で、孫ができたことは新たな生きがいになり、生活に張り合いが生まれました。孫に会うのが楽しみです。
Q 夫婦円満の秘訣は
○タ けんかしながらの53年ですが、何でも言い合える間柄で、すぐに話し合えるのがいいのかもしれない。
Q 今後の抱負は
○和 取り立てるようなことのない毎日でも、今思う

「幸せ」は自分たちで決めるもの

と、幸せに暮らしてこれました。今後も毎日を楽しくしていきたいです。
○タ 夫とともに健やかにすごせる日々をすこしでも長く送りたいです。
Q 若者へのメッセージを
○非 難されることも多い若者ですが、わたしたちは、しっかりと生活していると自覚しています。
家族・家庭を大切にしてください。そして選挙など、より良い社会づくりに積極的に参加してください。
「幸せに過ごしてこれた」と笑顔で話されたお二人です。
これからもお幸せに。



今回の表紙「観音山公園のアジサイ」(富岡町) 6月19日撮影

6月から7月にかけてきれいな花を咲かせるアジサイ。

土壌の酸性度によって青い花や赤い花を咲かせますが、さらに日が経つと花の色がしだいに変わっていきます。

じめじめした梅雨の時期ですが、花の色の変化を楽しんでみてはいかがでしょうか。

さかはらたつお
坂原辰男さん
(小中町)



○プロフィール

「田中正造没後100年記念事業を進める会」の会長。27年前に「田中正造大学」を創設し、検証を続ける。現在「田中正造100年講座」を実施中。太田市の「鉍毒史」編集委員も勤める。現在60歳。



「田中正造・未来への
大行進」に参加しよう

田中正造没後百年にあたる今年、この佐野で正造翁を最も深く検証し続け、全国へ発信している坂原辰男さんをお訪ねしました。

正造翁の地元・小中町育ちの坂原さんにとって、正造翁は身近な存在でした。大学に進学し、佐野を離れ、初めて外から正造を見つめました。

「東京で出会った友人たちが、皆、正造を知っていました。自分のお祖母ちゃんをおんぶしてくれた正造さんは、環境破壊と闘った日本初の活動家でした。この頃が私の活動の原点です」と語る坂原さん。

その後、群馬県で就職。昭和57年に佐野へ戻り、会社勤めをしながら、昭和61年「田中正造大学」を創設。地元に残るたくさんの方の史料や文献を調べ、小説を読み、正造翁の生き方を考えました。

「正造を伝記として終わらせてはいけません。僕が正造の仕事を引き継いでいこう。まだ鉍毒事件は終わっていないのだから。そして二度とこの様な事が起こらぬよう、見守っていこう」と思ったそうです。

主な活動は、講座を開いたり、参加者と市内外のゆかりの地を歩いて



足尾での見学会 (撮影：郷土博物館)

学ぶフィールドワークです。全国各地の学生やアジアからの留学生が坂原さんの話を聞こうと、今年も佐野を訪れました。そして毎年作成している「田中正造カレンダー」は今年で24年目になります。

百年前の10月、民衆の為に闘い、志し半ばでこの世を去った正造翁を偲んで、3万人以上の人々が佐野に集まり、本葬を営んだそうです。そして、百年後の今年の10月13日、夢と希望に溢れる明日を目指し、「未来への大行進」を行います。「皆さん、どうぞ参加してください。子どもたちが、ふるさとに誇りを持てるように、一緒に行進しましょう」坂原さんからのメッセージです。

正造生誕の地、佐野の市民として、平和や自然の大切さを考える年にしましょう。(市民記者 吉井貴子)

市長からの
メッセージ



先月、爽やかな快晴のもと佐野市消防操法大会が開催されました。各分団の精鋭たちが全力で日頃の練習の成果を披露し、客席から大きな拍手を浴びていました。団員の皆さんは、各自が生業を持ちながら訓練に励み、火災や災害などの際には危険を顧みず地域社会を守ってくれています。団員のご家族を含めて、その頑張りにあらためて感謝します。

同じ日、テレビで陸上の日本選手権を見まして、全力で疾走する選手の姿に往年の自分の姿が重なり、感慨深いものがありました。先日、80歳でエベレストに登頂した三浦雄一郎さんの姿からも、スポーツの素晴らしさ、目標を持って努力することの大切さを実感しました。子どもから高齢者まで、みんなでスポーツを通じた地域づくり、生きがいづくりに取り組んでいかなければなりません。私もスポーツ立市を掲げましたが、観光立市とあわせて、市の活性化につなげていきたいと思っています。

さて、新庁舎につきましては、この「広報さの」4頁、5頁に掲載したとおり、完成が5カ月遅れることになりました。6月議会に補正予算などを提出し、可決を頂いたところです。東日本大震災後の社会情勢の影響を、思った以上に受けることになりましたが、一日も早い完成に向けて全力で取り組んでまいります。引き続き市民の皆さんのご理解・協力をお願いいたします。

7月は土砂崩れや河川の氾濫、大水、ゲリラ豪雨なども心配されます。市民の皆さんもお出かけの際は天気予報に十分に注意してください。

岡部 正英